



第一礼拝次第

メッセージ: 渡真利彦文牧師
映像・配信: 郭永東牧師

前奏			
頌栄	540	会衆	
主の祈り		〃	
プレイズ	「真昼のように」 「永遠にあなたと」	〃	
聖書朗読	使徒言行録 27:13-26	司会	
祈禱	(新約聖書 p268)		
賛美	130	会衆	
メッセージ	「恐れるな、 元気を出さない」	牧師	
祈禱			
賛美	新生 227	会衆	
献金祈禱		司会	
報告		会衆	
頌栄	新生 672b	会衆	
祝禱		牧師	



第二礼拝次第

メッセージ: アドリアン・アルセ師
司会: エゼキエル・アルセ兄

Come and see. Let's praise the Lord



ファミリー礼拝

聖書: マタイ 27:32~56
メッセージ: 「十字架上の神の子」

<巻頭言>

「神の選び」

牧師 渡真利彦文

2021年の受難週を迎えました。十字架を前にイエス様が弟子たち話された言葉の中からみ言葉を一つ選んでみましょう。

「二者択一」を『ニシャタクワン』と呼んだ人がいました。最後の「一」を英語で読んでしまったのです。人生は選択の連続です。朝起きるか寝ているか、両方をいっぺんに選ぶことはできません。人には選ぶという自由が与えられていますが、その責任はその人に問われるのです。

友を選ぶという時、その選びの主体は私たちにあります。選ぶも捨てるも私たちの自由であり、権利であると考えられています。しかし、果たしてそうでしょうか。友を選び、友となるというとき、ただ私たちが自由に選び、また捨てるというだけでは真の友情は成立しないでしょう。友を選び、友となるということは、また私たちが友として選ばれるということでもあるのです。そこに私たちの自由意思を超えた、より大きな決定がなされているのです。そしてそのことを聖書は、神の選びと表現しています。

「あなたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだのである」(ヨハネ 15:16) これはもったいない言葉です。

クリスチャンになったころは、この真理がわからず、自分の力で神を選び取ったかのように錯覚していましたが、信仰の歩みの途中で、神の深いご計画によって選び出されたのだということに気づかされて感激し、心を燃やされ、主にお仕えしているのです。